

## 投稿

### 日常生活に励み

#### 奥様にはひやかされ

「さわやか」ボランティア

カミ ジョウジ ロウ  
上城 司朗

ボランティアさんの中から、「さわやか」新聞に各ボランティアさんの紹介をして欲しいとの要望が来ています。アンケートを取って対応を考えています。今回は上城さんに投稿をお願いして、一筆書いていただきました。〈編集部〉

「さわやか」に仲間入りさせていただき五ヶ月が過ぎました。人付き合いの下手な私には初めて経験するボランティアは内心不安でした。

最初の患者さんのお迎えで病院に行き、少々待って患者さんが出てこられ、お互いに初対面です。直しくと普通に挨拶をすませ車に乗ることになるが、私の車はステップが高く乗るのに苦労されました。でも、何とか乗り込み発車です。走る道を右、左と教えられ走る。ぼつぼつ会話は出始めると、もうお宅に到着。無事に送ることが出来、私にも人様のお役に立つことが出来たと思つくと、とても嬉しかったです。その時は、もう次の送迎の

ことを考え、少しでも乗り降りを楽しんで、踏台を造ることを考えた。その踏台も今では二段に改造して、皆さんに使

### 第5回ボランティア研修交流会

#### 「透析治療の歴史」の話も



「さわやか」では、第5回ボランティア研修交流会を四月十六日(日)に開催します。今回は、市営バスを貸切つて、青海島遊覧船巡りをします。心地よい春風を頬に受けながら、奇岩や断崖絶壁、空胴など、海上から眺めます。往きのバスの中で、江頭会長の「透析治療の歴史」につ

いて、興味深い(?)話があります。会費は三千円です。会費の中には、交通費、昼食代、遊覧船代が含まれています。ボランティアの皆さんの多数のご参加を希望します。詳細は別紙チラシを参照下さい。申込みは、事務局へ早めにお願ひします。

っていたとき、多少は楽に乗り降り出来ている?と思う。私の家族は、女房と娘の三人暮らしです。それぞれが、仕事を持っています。私自身は週四日、午前中四時間の仕事です。無事、無趣味な私には、一日がとて長く退屈でした。「さわやか」に入れていたからには、送迎のある日の私は、生々として来ます。女房からも、「お父さん、今日は誰々さんとのデートの日よ嬉しいでしょう」と、ひやかされます。正直な話、今は生活の励みになっています。

### 「市政だより」に

#### ボランティア募集

十二月十五日に開設した小倉事業所は、順調に推移しています。一月の送迎回数は百回をこえました。このような実績があげられたのも、ひとえに、ボランティアさんのご協力の賜物です。今後とも引き続きましてご協力の程をお願ひいたします。三月十五日号「市政だより」に、再び、通院介護のボランティア募集の記事が掲載されます。透析患者の利用者は今後、かなり増えることが予想されます。その要求に応えるためには、ボランティアさんの確

### 通院介護事業

#### 各地へ波及!

#### 佐賀・長崎でも

佐賀県腎臓病患者連絡協議会(略称 佐腎協)は、佐賀にも通院介護事業を始めようと、昨年末に、「さわやか」八幡に見学に来られました。また、一月には、江頭会長が佐賀を訪れ、通院介護の話をしました。現在、佐腎協では、佐賀県に対して、助成金の確保の陳情をしています。佐腎協の中では、通院介護事業設立の実行委員会も設立され、運動を開始しています。そのうちに、佐腎協の中にも、通院介護事業が出来るといでしょう。三月十四・十五の両日に行われる、全腎協総会でも、九州の「さわやか」が、議案書の中にも掲載され、全国的に今後、通院介護事業を拡大強化していくとの方針が示されています。また、三月二日には長崎県腎臓病患者連絡協議会からも保が絶対条件です。八幡・小倉両事業所とも張り切って頑張っています。

### 編集後記

春になり浮かれ気分になりたいのですが新聞を見るたびストレスがたまりません。膨大な赤字の処理を山一証券の経営陣は、大蔵省の指導で「飛ばし」しました。七千人の社員には、赤字はないと嘘の報告を してまでも。その結果は、会社破産、社員は解雇。「飛ばし」の事実を明らかにしていれば、このようにはならなかったのでは?そして、その尻拭いが30兆円の国民負担。ストレスたまるよなあー皆さん如何ですか?

